

平成29年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

| | |
|--|---|
| 経費の種類 | <input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input checked="" type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕 |
| プロジェクトの名称 | 「SOSの出し方・気づき方教育」の教材開発と授業実践 |
| 報告者氏名・所属・職名 | 井門正美・教職大学院・教授(教職大学院長) |
| プロジェクト担当者氏名・所属・職名 | 井門正美・教職大学院・教授(教職大学院長) |
| 研究内容及び成果の概要 | |
| <p>今日、学校関係者の様々な努力にもかかわらず、子どもたちの自尊感情の低さ、他者への思いやりや倫理観の欠如が問題視されている。いじめ、虐待やDV、自殺など、命に関わる問題が社会基盤を揺るがす大きな問題ともなっている。特にわが国における自殺は22,000人を切るまで減少しているが、依然として世界第6位で、若者(15-39歳)については、死因として自殺がトップになっている現状がある(2016年)。</p> <p>こうした状況に鑑み、本研究では、「SOSの出し方・気づき方教育」の教材開発、並びに、この教材による授業実践を行うことを目的とした。</p> <p>その結果、以下のような成果を挙げることができた。</p> <p>①教材「SOSの出し方を学ぼう」の開発： 井門、梅村武仁特任教授、川俣智路准教授の3名で本教材を開発することができた。</p> <p>②札幌市立札幌中学校における授業実践： 2018年3月16日に「SOSの出し方を学ぼう」の授業実践を第1学年約140名の生徒を対象に行った。事前事後のアンケートから、生徒が「SOSの出し方」の具体的手立てを学んだことが確認できた。また、先生方からも学びになったとの感想が得られた。</p> <p>③電子教材『命の教育プロジェクト—北海道教職大学院の試み—』（NSK出版、2018）の刊行：2016年からの教職大学院における活動や作成した教材等、並びに、井門がこれまでに発表した教材や実践、学会発表資料や論文等を内容とした電子コンテンツを作成した。</p> <p>④本研究成果のホームページ(http://www.ido-labo.com/edu4life/)での公開：本研究成果については、ホームページで教材コンテンツとして広く紹介し、ネット上でも活用できるものとした。</p> | |
| 成果の公表の状況 | |
| <p>【著書】</p> <p>【学術論文】</p> <p>次年度に学会論文等に発表する予定である。</p> | |
| 教育現場で活用可能な分野・教材等 | |
| <p>教材コンテンツ『命の教育プロジェクト—北海道教育大学教職大学院の試み—』（NSK出版、2018）</p> <p>「SOSの出し方を学ぼう」（北海道教育大学教職大学院）</p> | |
| 配布又はダウンロード可能な資料 | 命の教育プロジェクトホームページ http://www.ido-labo.com/edu4life/ |
| 問い合わせ先 | <p>代表者：井門正美</p> <p>電話：011-778-0614(研究室)</p> <p>FAX：同上</p> <p>mail：ido.masami@s.hokkyodai.ac.jp</p> |